



明日を担う子どもたちが 豊かに育つ笠岡をめざして

～笠岡市次世代育成支援行動計画ができました～

誰がやるべきなの？～行動計画の取り組み～

企業(事業所)

- 一般事業主計画を策定し、子育ての大切さを理解し、子育てをしている従業員にやさしい職場環境の推進に努めましょう。
- 子どもたちに職場体験や職業訓練の場を提供しましょう。

家庭

- 男女が協力して家事・育児を担いましょう。
- 子どもに幼いうちから基本的な生活習慣や社会的マナーを教え、望ましい生活習慣を身につけさせましょう。

行政

- 保育所・幼稚園・学校・保健所・児童相談所など関係機関との連携強化を図り、子どもをサポートしていく体制づくりを推進します。
- 子育て支援グループや関係団体への活動支援を行い、次世代育成支援のより一層の推進を図ります。

地域社会

地域住民

- 子どもたちに大人の方から積極的にあいさつや声かけをしましょう。
- 世代間の交流を通して、地域の伝統文化や地域行事、昔の遊びなどを子どもたちに伝えていきましょう。

**地域ぐるみで子育てを
支えることができるまち**

気軽に育児相談ができる環境を整えるとともに、安心して子どもを預けられる場所を確保する。また、家族で協力して子どもを育てる意識を高める。

問合せは
子育て支援課

☎ 06-21-32まで

次世代育成支援 行動計画とは

大きな社会問題となつていて、「少子化」は笠岡市においても例外ではなく、十年前には年間500人を超えていた出生者数は、平成16年度には393人と減少の一途をたどっています。

この行動計画は、子育ての

とても例外ではなく、十年前には年間500人を超えていた出生者数は、平成16年度には393人と減少の一途をたどっています。

しやすい環境をつくっていくために、行政のみならず家庭・事業所など市民全員が取り組む内容を具体的に明示したものです。

基本理念

「あたたかい家庭と地域のふれあいの中で子どもが豊かに育つまち」

家庭や地域は次世代を担う子どもの成長基盤です。子ど

もが安心とゆとりの中で育つ家庭環境と、ボランティアを取り組む内容を具体的に明示したものです。

しやすい環境をつくっていくために、行政のみならず家庭・事業所など市民全員が取り組む内容を具体的に明示したものです。

これを実現するための目標として、次の4つを掲げました。

子どもが健やかに育つことができるまち

や、望ましい生活習慣を身につけさせる。また、さまざまな活動や体験を通して心豊かな人間性を養う。さらに、子どもの人権を守り、障害児に対する支援を充実させる。

安心とゆとりを持つて子どもを生み育てることができるまち

気軽に育児相談ができる環境を整えるとともに、安心して子どもを預けられる場所を確保する。また、家族で協力して子どもを育てる意識を高める。

行動計画を 実のあるものに

笠岡市次世代育成支援行動計画は、平成17年度から平成26年度までの10年計画としています。

この計画の実行にあたっては、毎年進ちょく状況を把握することはもちろん、時代の変化に合わせた計画の見直しも想定しています。

子どもたちの輝く笑顔のために、市民ぐるみで子どもを育てる社会を創っていきます。

命の大切さや性に対する正しい知識を身につけた次代の親を育成するため、思いやりのある感性豊かな子どもを育てる環境を整える。

心身ともに健全な次代の親を育むことができるまち

を活かした子育ての仕組みづくりを行うとともに、保護者が子育てと仕事との両立ができる社会環境を整える。